

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100586	
法人名	株式会社 愛誠会	
事業所名	はなまるホーム甲府山宮	
所在地	山梨県 甲府市 山宮町2904	
自己評価作成日	令和 元年 12月 31日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和3年2月20日(土)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・明るく温かみのある雰囲気。 ・午前午後のアクティビティー。 ・毎月利用者様が楽しんで頂けるようなイベントの企画計画実施。 ・イベントの楽しい様子をご家族様等にお伝え出来るような、はなまる通信配布。 ・家庭的な美味しいお食事や楽しいイベント食事。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は甲府市北西部の住宅地にあり、周囲には神社、スーパーマーケット、病院、薬局、学校、郵便局等がある利便性の良い場所にある。建物は木造2階建ての1階、2階の2ユニットになっている。開設してから3年半と短期間ではあるが積極的に自治会に加入し、地域の祭りでは子ども神輿の休憩所として協力したり、散歩の際には近隣住民と挨拶を交わし地域の一員として交流している。事業主体である「愛誠会」の理念である”誠実な気持ちで他者を愛する”を社是とし、事業所は「自立支援」を介護目標に掲げ、排泄、入浴、食事、体力維持等の日常生活上のあらゆる場面で、利用者の持っている力を引き出すケアを実践している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている 現状は(参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに(コロナ禍以前) 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている 現状は(参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが(コロナ禍以前) 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念の一つとして掲げており管理者及び職員はその理念を共有し運営、実践を行っている。	企業理念の一つとして掲げており管理者及び職員はその理念を共有し運営、実践を行っている。	事業主体の(株)「愛誠会」の理念である「誠実な気持ちで他者を愛する」を社是とし、「自立支援」を介護目標として利用者のADLの向上に取り組んでいる。月1回外部講師による研修を受けたり、医師や看護師の助言を受けながら支援プログラムに基づいて実践している。排泄や歩行訓練に成果が得られている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会のご協力にてお祭りのお神輿等をお披露目に来て頂き子供会の方にお菓子を配ったりし地域の一員として協力している。	自治会のご協力にてお祭りのお神輿等をお披露目に来て頂き子供会の方にお菓子を配ったりし地域の一員として協力している。	自治会に加入し、回覧版などで地域の情報を得ている。神社の祭典で子ども神輿の休憩所として場所を提供し、お礼にお菓子を配るなど地域の一員として協力している。防災訓練や事業所の行事等で繋がりが持てるように検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学に来られた方等に認知症の理解や支援の行い方などお伝えすることによって活かしている。	見学に来られた方等に認知症の理解や支援の行い方などお伝えすることによって活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を適宜開催し、報告や話し合いを行い出てきたご意見をサービスの向上に繋げている。	運営推進会議を適宜開催し、報告や話し合いを行い出てきたご意見をサービスの向上に繋げている。	2か月に1回会議を開催し、地域包括支援センター担当者、自治会役員、民生委員、家族代表、事業所職員が出席し各種報告や意見交換を行っている。現在、会議はなく書面上で報告し、アンケートを取って意見集約している。質問があり、テレビ通話やベランダ越しの面会等で対応している現状を伝えた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあれば甲府市長寿支援室介護保険課各担当にお話し助言や指示等の協力をうけ運営を行っている。	何かあれば甲府市長寿支援室介護保険課各担当にお話し助言や指示等の協力をうけ運営を行っている。	市担当者には運営推進会議の報告をし、事業所の入居状況等協議事項がある時は相談したり助言を受けている。また、2か月に1回介護相談員の来訪がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適性化のための委員会を適宜開催し、話し合いや研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適性化のための委員会を適宜開催し、話し合いや研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適性化委員会を毎月1回開催している。各フロア代表、管理者、ケアマネージャーが日常的なケアや言葉遣い、スピーチロック等についてテーマを決めて協議している。職員には年1回、接遇チェック表によるアンケートを取り、自己評価と振り返りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待研修を本社が定期的に行っており虐待防止について学び事業所で虐待が発生しないように防止に努めている。	虐待研修を本社が定期的に行っており虐待防止について学び事業所で虐待が発生しないように防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様について居宅ケアマネ様、病院ソーシャルワーカー、施設ケアマネ、施設長にて協議行った経緯ありその時は制度は活用するまでもないとの判断を行った今後もそのような案件があれば活用できると判断に達したら活用し支援を行っていく。	利用者様について居宅ケアマネ様、病院ソーシャルワーカー、施設ケアマネ、施設長にて協議行った経緯ありその時は制度は活用するまでもないとの判断を行った今後もそのような案件があれば活用できると判断に達したら活用し支援を行っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前からご家族様には分かりやすく施設での生活の行い方等の説明を行い疑問に思うことは質問して頂き納得されてからご契約を再度しっかり説明を行いながらご納得を頂き行っている。	契約前からご家族様には分かりやすく施設での生活の行い方等の説明を行い疑問に思うことは質問して頂き納得されてからご契約を再度しっかり説明を行いながらご納得を頂き行っている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様の要望や意見は可能な限り受け止め対応し要望や意見のあった利用者様、ご家族様に対応した結果まで説明し運営に反映させて頂いている。	利用者様、ご家族様の要望や意見は可能な限り受け止め対応し要望や意見のあった利用者様、ご家族様に対応した結果まで説明し運営に反映させて頂いている。	運営推進会議や日常的な面会の機会をとおして家族の意見を聴いている。職員は担当制なので、本人や家族の要望や意見を聴く機会も多く、申し送りやケア会議で検討し職員間で共有している。今回、面会や外出が自粛され、利用者のストレスや感染症対策に不安があるとの意見を受けて対応した。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアー会議等で職員に考えや意見を出し合ってもらい決まったことを実施し実施した結果を再度会議で話し合い反映させている。	フロアー会議等で職員に考えや意見を出し合ってもらい決まったことを実施し実施した結果を再度会議で話し合い反映させている。	フロアー会議で職員の意見を聴いている。実際に取り組んだ内容は振り返りをして、再度協議している。管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを取り、何時でも相談できる関係を築いている。年2回個別面談の機会もあり、職員の意見を聴いて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者として職員が働きやすい環境を提供出来るように適宜改善や聞き取りを行っている。	管理者として職員が働きやすい環境を提供出来るように適宜改善や聞き取りを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には可能な限り職員には参加して頂きスキルアップに努めてもらうようにしている。	研修には可能な限り職員には参加して頂きスキルアップに努めてもらうようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者として同業者の集まりや研修講習に参加し交流をする機会を作っている今後は職員も同業者の交流の場に参加して頂き刺激を受けサービスの向上が上がっていくようにしていく。	管理者として同業者の集まりや研修講習に参加し交流をする機会を作っている今後は職員も同業者の交流の場に参加して頂き刺激を受けサービスの向上が上がっていくようにしていく。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居間もない利用者様には要望やお話を聞きながら不安な所を和らげていくよう初期段階は安心して頂けるような関係作りを職員は努めている。	入居間もない利用者様には要望やお話を聞きながら不安な所を和らげていくよう初期段階は安心して頂けるような関係作りを職員は努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の見学段階からご家族様にはお困りごとやどのように生活をして欲しいか等のお話をたくさん聞かせて頂きそれに対して提案を行いご理解を頂いている。またお会いするたびにお話を重ね良い関係作りを努めている。	最初の見学段階からご家族様にはお困りごとやどのように生活をして欲しいか等のお話をたくさん聞かせて頂きそれに対して提案を行いご理解を頂いている。またお会いするたびにお話を重ね良い関係作りを努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お困りごとをご家族様に聞き取りすることも行うが、どのようにホームで過ごしてほしいかを深く聞き取り出来る能力有する力で行えることを考えそこにまず必要な支援を見極めそれをご家族様に提案し対応をおこなっている。	お困りごとをご家族様に聞き取りすることも行うが、どのようにホームで過ごしてほしいかを深く聞き取り出来る能力有する力で行えることを考えそこにまず必要な支援を見極めそれをご家族様に提案し対応をおこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることを奪わない一緒に出来るところは行って頂く出来ないところは支援を行っていくを職員間で統一してケアとし共有することによって暮らしを共にする関係性を築いている。	出来ることを奪わない一緒に出来るところは行って頂く出来ないところは支援を行っていくを職員間で統一してケアとし共有することによって暮らしを共にする関係性を築いている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご見学の段階から当ホームの考え方としてご家族のご協力を前提に施設の職員と一緒に支援を行い利用者様が良い生活が行えるようにしていくことを言い方は適切ではないかもしれないがご家族も巻き込んだケアを説明しご理解頂いたご家族様がご入居を決めて頂いている。	ご見学の段階から当ホームの考え方としてご家族のご協力を前提に施設の職員と一緒に支援を行い利用者様が良い生活が行えるようにしていくことを言い方は適切ではないかもしれないがご家族も巻き込んだケアを説明しご理解頂いたご家族様がご入居を決めて頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人に関しては事前にご家族様にご確認をとり問題なければ来訪して頂いている場所に関しては時期や感染症などを考慮しご家族対応にてお出かけされている。	ご友人に関しては事前にご家族様にご確認をとり問題なければ来訪して頂いている場所に関しては時期や感染症などを考慮しご家族対応にてお出かけされている。	家族、友人の来訪があり訪問美容も受けているが、来訪希望者は事前に家族に相談してから受入れている。現在は、外出や面会が自粛により制限されているが、利用者のストレスや家族の心配を軽減するため、ドライブしたり、電話での近況報告や玄関先での面会を実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様利用者様のお世話をやいて下さったりお手伝いをされること多くみられる職員は怪我やトラブルに注意しながら関係性をとりもち支援を行っている。	利用者様利用者様のお世話をやいて下さったりお手伝いをされること多くみられる職員は怪我やトラブルに注意しながら関係性をとりもち支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	全ての方ではないが契約が終了してからもご連絡があったり野菜などお持ちになられるご家族様おられ色々お話をしたり聞いたり関係が続いている。	全ての方ではないが契約が終了してからもご連絡があったり野菜などお持ちになられるご家族様おられ色々お話をしたり聞いたり関係が続いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向を受け止めリスクも考え可能な限りの対応や代替えの提案をご本人にお話をして検討おこなう。	希望や意向を受け止めリスクも考え可能な限りの対応や代替えの提案をご本人にお話をして検討おこなう。	職員は日頃から利用者の言葉やしぐさ、表情等から希望や意向を把握している。利用者一人ひとりが、意向に沿った生活ができるように家族とも連携しながら支援し、何気ない会話やレクリエーションをととして利用者と向き合える時間を確保している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴等を把握し利用者様同士の会話の中に入り利用者様同士の関係を築いたり、生活環境ではペットの起き上がりの習慣などもとらえベッド向きなどに反映したりし利用者様が長年の生活で動きやすい起居動作や配置などに繋げている。	生活歴等を把握し利用者様同士の会話の中に入り利用者様同士の関係を築いたり、生活環境ではペットの起き上がりの習慣などもとらえベッド向きなどに反映したりし利用者様が長年の生活で動きやすい起居動作や配置などに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の性格やADL、認知症の状態も把握し一日の生活動作の安全の確保や安楽な過ごし方が行える様努めている。	利用者様の性格やADL、認知症の状態も把握し一日の生活動作の安全の確保や安楽な過ごし方が行える様努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議の中で適宜カンファレンスをおこない、利用者様の現状に即した介護計画書を見直しや作成をおこなっている。	毎月会議の中で適宜カンファレンスをおこない、利用者様の現状に即した介護計画書を見直しや作成をおこなっている。	入居時に本人、家族、関係者から意向や情報を得て、それを基に介護計画を作成する。3か月で見直し、変更ある場合は修正している。3か月から6か月でモニタリングし、ケア会議でカンファレンスを行い本人の状況に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々個別に介護記録を記入し変調や変わったことがあれば引き継ぎ共有し見直しに役立っている。	日々個別に介護記録を記入し変調や変わったことがあれば引き継ぎ共有し見直しに役立っている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新しいニーズが出た場合柔軟に対応している。	新しいニーズが出た場合柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来る範囲で行えることを支援し暮らしを楽しんで頂けるよう努める。	出来る範囲で行えることを支援し暮らしを楽しんで頂けるよう努める。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診時ご家族の要望もお伝えしながら医師との関係性を保ちつつ医療が受けられるよう努めている。	往診時ご家族の要望もお伝えしながら医師との関係性を保ちつつ医療が受けられるよう努めている。	利用者は月2回、協力医の訪問診療を受けている。個別の受診は家族対応だが、場合によっては職員が対応している。その他、訪問看護ステーションより週1回の訪問看護を受け、夜間対応は訪問看護師に相談している。歯科の訪問診療も週1回あり、80歳で20本の歯がある利用者が表彰された。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時看護師に伝え対応して頂いている。	訪問看護時看護師に伝え対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院Drや病院相談員にお話を伺い対応している。	病院Drや病院相談員にお話を伺い対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で往診Drよりお話がありご家族様と話し合いの機会を作り3者で今後の方針を共有しケアを行った。	早い段階で往診Drよりお話がありご家族様と話し合いの機会を作り3者で今後の方針を共有しケアを行った。	入居時に重度化や終末期について説明している。利用者の体調の変化、入院、重度化等の状況の変化があれば早い段階から、往診医、家族、管理者で話し合い方針を検討し、利用者、家族のニーズに出来るだけ応えるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	初期対応については救急車対応などは職員にて経験もある応急手当に関してはホームで行ったことがまだない	初期対応については救急車対応などは職員にて経験もある応急手当に関してはホームで行ったことがまだない		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2階の避難訓練の実施をおこなっているまた今後自治会消防団との災害時の対応について連携を取っていく予定	年に2階の避難訓練の実施をおこなっているまた今後自治会消防団との災害時の対応について連携を取っていく予定	年2回の避難訓練では地震、火災、夜間を想定して利用者の避難誘導を実施している。運営推進会議で自治会の消防団の方から避難誘導についての助言を受け参考にしている。地域の防災や福祉避難所としての協力体制について検討している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コミュニケーションを取りながら気分を害さない言葉かけや話し方を行い、出ていない方には適宜指導行う。	コミュニケーションを取りながら気分を害さない言葉かけや話し方を行い、出ていない方には適宜指導行う。	職員は、利用者の人格を尊重し、プライバシーを守るために日頃から言葉遣いやトイレ誘導、入浴支援等の場面で配慮しながら支援している。管理者が気付いた時は助言している。個人ファイルや書類も他者の目に触れないように管理している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	更衣の際や飲み物のお尋ね等、選べるような判断出来るような声掛けを行い自身で決めることが出来るように努めている。	更衣の際や飲み物のお尋ね等、選べるような判断出来るような声掛けを行い自身で決めることが出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員によっては余裕が無く出来ない方もいる余裕をもって勤務できる環境や職員への声掛けを行い個人のペースを尊重した支援を行えるようにしていく。	職員によっては余裕が無く出来ない方もいる余裕をもって勤務できる環境や職員への声掛けを行い個人のペースを尊重した支援を行えるようにしていく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容や外出予定時など気をつけて支援行っている。	整容や外出予定時など気をつけて支援行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や下膳など手伝ってくださる利用者様があり適宜一緒に行っている。	食事の準備や下膳など手伝ってくださる利用者様があり適宜一緒に行っている。	献立は利用者の希望を聞きながらその都度決めている。食材購入には利用者も同行し、調理も職員と共に行うが、現在は利用者は同行していない。行事食や誕生日には利用者の好きなメニューにして、食事が楽しみにしている。たこ焼きづくり等は男性の利用者も積極的に参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分の摂取票に記入しており水分の確認を行いつつ水分摂取が少ない方には声掛けし促し保水して頂く	水分の摂取票に記入しており水分の確認を行いつつ水分摂取が少ない方には声掛けし促し保水して頂く		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方には口腔ケア後確認させて頂き磨き残し等チェック行っている。	出来る方には口腔ケア後確認させて頂き磨き残し等チェック行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	今検討中の方おり可能な時は2名介助おこない便秘時や排便時対応行っている。	今検討中の方おり可能な時は2名介助おこない便秘時や排便時対応行っている。	排泄チェックはタブレットに記入し共有している。自立支援の取り組みで、リハビリパンツから布下着になった方がいる。便秘対策も医師との連携で服薬を調整したり、食事内容を検討し自然排泄に向け支援している。車椅子から歩行器使用になった方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬剤師と連携をとり指示を頂いたり職員同士で排便状況確認にしや薬剤師に確認を行い対応している	薬剤師と連携をとり指示を頂いたり職員同士で排便状況確認にしや薬剤師に確認を行い対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は余裕をもって1日3人を目処で行っている都合ではなくスケジュールを組んで行っている	入浴は余裕をもって1日3人を目処で行っている都合ではなくスケジュールを組んで行っている	1週間に6日は入浴できる体制になっている。午前中3人の入浴で基本的には一人が週2回入浴している。シャンプーや入浴剤は共有しているが化粧品等個人の希望により個人持ちで使用している方もいる。入浴を楽しめるように、利用者のその日の状況により柔軟に対応している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

はなまるホーム甲府山宮

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたい利用者様や希望された利用者様を必要以上に起こしておくことは無くお休み頂いている。	休みたい利用者様や希望された利用者様を必要以上に起こしておくことは無くお休み頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より詳しく説明や指示のバックアップが出来ており服薬支援においてもお薬のセット段階からトリプルチェック行うなど管理をおこなっており服薬後症状の変化についても変化があれば薬剤師に確認しDrへと連携が出来ている。	薬剤師より詳しく説明や指示のバックアップが出来ており服薬支援においてもお薬のセット段階からトリプルチェック行うなど管理をおこなっており服薬後症状の変化についても変化があれば薬剤師に確認しDrへと連携が出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活で役割をお願いしお手伝いして頂いたり好きなテレビをみたり音楽を聴いたりと個々で楽しみごとや気分転換も行っているが皆さんと一緒にすることが好きな利用者様が多い。	日々の生活で役割をお願いしお手伝いして頂いたり好きなテレビをみたり音楽を聴いたりと個々で楽しみごとや気分転換も行っているが皆さんと一緒にすることが好きな利用者様が多い。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族のご協力のもと外出や外泊されている、それ以外で天気や時期を考慮し外出のイベントも少数でわけて行う計画をし実施している。	ご家族のご協力のもと外出や外泊されている、それ以外で天気や時期を考慮し外出のイベントも少数でわけて行う計画をし実施している。	家族との外食や受診、自宅を見に行くことや事業所の行事で花見やドライブ、初詣等外出の機会はあるが、現在は外出自粛のため機会は少ない。利用者の気分転換のために近くの公園に車で行って公園内を歩いたり、事業所周辺を散歩するようにしている。	
50		○お金の所持や使うことへの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所では金銭のお預かりはしていない為、個々の買物に関しては金銭を所持することが少ない、品物を選んだりすることを楽しまれることは出来ている。	事業所では金銭のお預かりはしていない為、個々の買物に関しては金銭を所持することが少ない、品物を選んだりすることを楽しまれることは出来ている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけるのが難しいためこちらからご家族に了承をえてからおかけしお話し頂くことが多い、お手紙を書かれる方は見られないお手紙を届くことが多い	電話をかけるのが難しいためこちらからご家族に了承をえてからおかけしお話し頂くことが多い、お手紙を書かれる方は見られないお手紙を届くことが多い		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特に刺激が強いものがなく混乱もない、日当たりがよく「今日もいい天気だね」と穏やかに環境的には落ち着いている。	特に刺激が強いものがなく混乱もない、日当たりがよく「今日もいい天気だね」と穏やかに環境的には落ち着いている。	木造で温もりがあり室内や廊下は明るい。建物が高台にある為2階の窓から富士山が良く見え、景観が良い。壁面には利用者が作成したカレンダーや装飾が飾られている。リビングには大型のテレビや生花の鉢が置かれている。共用トイレは広くて使い易い。浴室入口に温泉マークがあり、手すりも多く入り易い工夫がされている。清掃も行き届いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では気の合った利用者様同士で過ごされている、席については何度もしこ錯誤している。	共用空間では気の合った利用者様同士で過ごされている、席については何度もしこ錯誤している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みのものなどをご家族様お持ち頂いているベットの向きに関しては今までの起居動作を伺い同じ向きで起きられるようにセットしている。	居室には馴染みのものなどをご家族様お持ち頂いているベットの向きに関しては今までの起居動作を伺い同じ向きで起きられるようにセットしている。	居室にはエアコン、ベッド、換気扇、クローゼット、カーテン、フック用の支柱が取り付けある。家族写真、色紙、使い慣れた椅子やタンス、テレビ等が置かれその人らしい生活が窺われる。ベッドの向きや寝具にも配慮し、今までの生活が継続できるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所が分かるように札を設置したり、居室お名前を分かりやすくしたり、床にラインを引いたりなど工夫を行っている。	トイレの場所が分かるように札を設置したり、居室お名前を分かりやすくしたり、床にラインを引いたりなど工夫を行っている。		